

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12020161

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	A		
単位施策	5	生涯教育施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	体育施設整備事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	施設整備		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	施設整備		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全 体 計 画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事 業 内 容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	
計 画 内 容	体育施設整備				風の丘スキー場リフト制御盤修繕 540千円	風の丘スキー場管理棟屋根・外壁改修工事 3,608千円 農村広場備品購入 113千円 テニスコート防風ネット購入 301千円	
	スポーツセンター						
	武道センター						
	農村広場						
	パークゴルフ場						
	風の丘スキー場						
	テニスコート						
	ブルームボールコート						
	事業費(千円)	4,562	0	0	0	540	4,022
	財源内訳						
国庫支出金	0						
道支出金	0						
地方債	0						
その他	0						
一般財源	4,562				540	4,022	
実績事業費							
事業費(千円)	540	0	0	0	540	0	
財源内訳							
国庫支出金	0						
道支出金	0						
地方債	0						
その他	0						
一般財源	540				540		
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 風の丘スキー場リフト制御盤修繕	
	【評価・実績】		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				修繕の実施	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	0%
	全体達成率	0%	0%	0%	12%	12%	
	事業進捗状況						

事業名	体育施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	齋 藤 康 志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	風の丘スキー場リフト制御盤修繕	
【抱える課題やニーズは】	体育施設利用者の減少及び施設設備の老朽化。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	体育施設の計画的かつ適切な整備による、町民のスポーツ活動の推進。	① 風の丘スキー場リフト制御盤修繕	目標年度	平成28年度
			目標値	1式
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	全町民が主体的にスポーツに親しみ、継続してスポーツ活動を実践することで、町民の心身の健康及び活力ある地域づくりを図る。	②	実績値	1式
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	風の丘スキー場リフト制御盤修繕	リフト保守管理委託業者による修繕	達成度	100.0%
			目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	経年劣化によりリフト制御盤の破損がみられ、放置することは、リフト運行に支障をきたす恐れがあることから、修繕は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	リフト制御盤の修繕により、安全性が確保できた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	安全性の確保は、コストに見合う効果と判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広く町民が利用する施設であることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり修繕を実施し、利用者への利便性の確保することができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町内の体育施設は、おしなべて老朽化が顕著であることから、今後も計画的な整備が必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止